

11月の園だより

平成21年11月1日 発行 おぼやし保育園

秋の恵み…

きれいに色づいた落ち葉が園庭で舞っています。先月、園の農園でイモほりをしました。今年も子どもの顔より大きいさつま芋がたくさん収穫できました。子どもたちはそれぞれのビニール袋にたくさんのお芋を詰め込んで持ち帰りました。5日には子どもたちが収穫したお芋を農園で焼き芋にして楽しもうと思います。ご家庭では新米の香りがただよう頃でしょう。お子さんと一緒に秋の恵みを楽しんでください。ポカポカ日ざしに包まれて、今日も子どもたちの笑顔が輝きます。



もうすぐ勤労感謝の日です。子どもたちも、自分の周りにはさまざまな仕事があることに興味をもち始めています。「いつもありがとう!」。ご家庭でも、お父さん、お母さんのお仕事についてお話をしてあげてください。

新型インフルエンザについてのお知らせ

- ・本園でも新型インフルエンザに感染した児童が確認されました。(10月29日現在4名)
- ・埼玉県社会福祉施設のインフルエンザへの対応の基準の変更に伴い、園の閉鎖の基準を3名以上の発症から10名以上の発症に変更します。詳細については“お知らせ”で通知します。

【登園許可証について】登園許可証が園のホームページからダウンロードできます。

11月の目標	
ヒヨコ	・音楽に合わせて体を動かしたり、戸外で遊ぶことを楽しむ。
ウサギ	・手洗い、うがいをしっかりしましょう。 ・体を十分に動かし、友だちと一緒に遊びましょう。
すみれ	・楽器を使って音を奏でたり、うたを歌ったりして表現することを喜ぶ。 ・色々なことに興味を持ち、挑戦しようとする。
さくら	・クラスの友だちと一緒に共通の目的に向かって取り組む楽しさを味わう。 ・秋の自然にふれて遊ぶ中で自然現象の変化に興味や関心を持つ。
うめ	・生活や遊びの中で数・量・形などに対して関心を深める。 ・衛生面に気をつけながら健康に過ごす。

11月の行事予定

- 5日(木) ヤキイモ大会
- 6日(金) 交通安全(交差点の渡り方)
- 13日(金) 七五三-小林神社参拝
- 17日(火) クリスマスツリー飾り付け
- 19日(木) 避難訓練
4:40 降園時火災発生
- 20日(金) 勤労感謝のプレゼント
- 27日(金) お誕生会

季節性インフルエンザの予防接種を

お子さんは2回接種が必要です。体調の良い時期を見計らって、かかりつけの医師にご相談ください。

これからだんだん寒くなってきます。保育園でもせき込んだり、発熱するお友だちも増えています。お子さんの様子がおかしいと感じたら、「まあいいや、様子を見てから…」と考えずにお医者さんに診てもらってください。保育園は集団生活の場であることを認識して頂きたいと思えます。

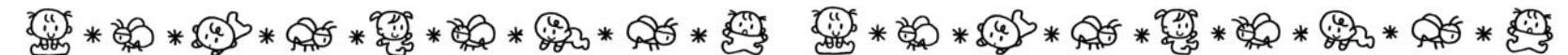


※今年はワクチンの量が少ないようです。早めに主治医にご相談ください。

11月生まれのおともだち

おたんじょうびおめでとう!

- 1日 はせべ りくとくん(5さい)
- 17日 まつむらしょうごくん(6さい)
- 17日 うちだかいくん(5さい)
- 20日 かわた りりなちゃん(6さい)
- 22日 もりた いっせいくん(3さい)
- 24日 いいい さあちゃん(1さい)



運動能力を育てる! 親子エクササイズ

ドッキング体操③
脚力をつける!

「スペースシャトル」



「3、2、1、発射!」の合図で思いっきり飛びましょう! おとなはジャンプに合わせて、子どもを真上に引っ張りあげ、子どもは空中に舞います。その後、子どもは十分に注意して着地します。3-5回程度行ってみましょう。

子どもはしゃがんでジャンプの準備をします。

おとなと子どもは向かい合って手をつなぎます。

子どもの能力を育む ワンポイントコラム

深くしゃがんだ姿勢から、一気に全身のパワーを足に集中させて、空中に飛びだしましょう。力いっぱいジャンプすることで、脚力向上につながります。子どもがジャンプするときは、頭突きをされないように注意してくださいね。空中では、おとなが手を放さずしっかりととらえて、着地までサポートしてあげましょう。

小学校へつなげる生活習慣

第8回

時間を意識しよう

文・増田時枝

小学校では時間を意識して動かなくてはなりません。日ごろから時刻のことばを会話の中でつかい、アナログ形式の時計で時間感覚を養うなどして、子どもの時間への意識を育てましょう。

小学校への就学時健診をきっかけに、お子さんたちの小学校への関心は、いちだんと高まってきているのではないだろうか。園でも就学時健診で訪れた学校のように、園生活と小学校生活の大きな違いは、小学校生活が時間で区切られていることではないだろうか。登校時刻や授業時間の区切りなど、小学校では時間を意識して動くことになりす。

幼児の時間についての意識には個人差があります。「長い針が6」になったら片付けてね、「じゃあ、あと三〇分遊んでいいんだね」と聞き返してくる姿が見られる一方、「明日の遠足は八時四十五分集合だ」と言われて「八時四十五分って何

時のこと?」と聞き返す五歳児がいたりします。園では、年長に進級したころから「長い針が6」になったら…と「9」まできいたら…などの言い方に時刻を取り入れながら時間への意識を子どもたちの中に育てていきます。

時間への意識は、「先を見通す」ことにつながっていきます。先を見通せる時間の意識は、経過時間の感覚を育てていきます。時間の意識や感覚を育てていくには、時刻を直接表示するデジタル時計よりも、文字版を追いながら考えられるアナログ形式の時計のほうが有効だと思われす。

おうちでも、時刻や時間に対して普通の言い方で話すようにしたり、お子さんの身近なところにアナログ形式の時計を置いたりしながら、時間への意識や感覚を育てていっていただきたいと思えます。